

第 61 問

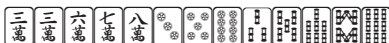


ツモ

何を切りますか？


第 61 問



















解答



打 

    の比較になります。

 シャンポンを捌くか、カンチャンを捌くかの選択になります。

   のリャンメン変化は   、 のそれは  。カンチャンを残す方が有利なのでシャンポンを捌きます。打  が正解です。   のどれかが重なれば（たとえば  なら     となり）マンズの変化にも期待できます。2トイツを捌くときは外側が基本です（仕掛けなどから比較するのは中級者から）。

このように3～7のカンチャン2組と1・2を含むカンチャン2組からの選択ではカンチャン2組を残す方が有利なことが多いのです。

第 62 問



ツモ 

何を切りますか？

第 62 問

解答



打

3～7のカンチャン2組と3～7のシャンポン2組の選択では、その差はわずかです。しかし、ほとんどの場合複合形になるのでその形によって優劣がわけられます。

問題の場合はソースにリャンメン変化があったときにピンフがあるのでカンチャンとリャンカンチャンの形を残すのが有利です。

第 63 問



ツモ 

何を切りますか？

第 63 問

解答



打

ピンフがないときは からは打 が
わずかに有利です。

をツモったときに で残せますが、
打 とすると からの打 () な
ので余剰牌ができてしまいます。したがって打
 がいいのです。

第 64 問



ツモ



何を切りますか？





第64問

解答







打 

  シャンポンからのリャンメン変化よりもすでにリャンメンが2組あるのですからシャンポンを捌くのが断然有利です。

リャンメンができているといっても   で残せばツモ 、ツモ  で次の牌姿になります。



このとき、  が薄くなっていることもあります。その場合、 を雀頭候補に打  とする手もあります。さまざまな変化に対応できるよう、外側のトイツを切るのが基本なのです。

第 65 問



ツモ 

何を切りますか？

第 65 問

解答



打

この形ではピンフを優先してリャンメン2組を残すのが常識です。トイツは基本通り を切ります。ここからもピンズが重なって、 にくっついての変化があるので対応できる形をとりましょう。